



小泉小学校通信 特別号

令和7年3月24日
郡山市立小泉小学校
校長 左雨 貴子

『卒業おめでとうございました』 ～感動・感謝・感激の卒業式～

みなさんが小学校に入学してまもなく平成から令和へと元号が変わり、その年の秋、台風19号による水害という自然災害に見舞われ、明健小学校で学校生活を送ることになりました。それでもみなさんは、元気に登校し、勉強や運動に励みました。不安な日々を乗り越えたところ、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、2年生から4年生の間に、学校生活に様々な制限がある中での活動となりました。やりたいことがたくさんあったことでしょうか。お友達と一緒に学びたいこと、体を思いっきり動かしたかったこと、思い通りにならない日々の中でも、その時にできることに精一杯努力を続けてきました。

そして、5年生になってからは、少しずつ学校行事や学校生活が再開され、みなさんは仲間たちと支え合いながら、ふれ合い活動や体験活動、対話が増え、楽しむことをも学びました。

目標・努力・協力・友情・体力を五リンとした小泉五リンピック、5月のスポーツフェスタでは、縦割り班ごとに目標を決め、達成できるようにと、一人一人が体力をつけ、リレーではバトンをつないで協力し、ひとりでも友達と友情をはぐみながら、みんなでがんばりました。そして、仲間との絆が深まった会津方面への修学旅行、縦割り班で助け合いながらゴールを目指した全校遠足、最後までがんばる姿を見せた小泉マラソン、小泉フェスタでは、最上級生として、学習の成果をどのように表現すれば、自分たちの学習のまとめになるのかを考え、発表していました。様々な活動を通して、どうすればよいかを考え人と対話をし、協力・協働する力を身に付けました。どの場面においても、みなさんは、助け合い、声をかけあい、困っている人から仕事を引き受けたりしてリーダーシップを発揮し、相手をいたわる姿から、周りの人を笑顔にしてくれる6人でした。

この6年間で、みなさんは「いろいろなことを乗り越えるたくましさ」と、しなやかな強さを身に付けました。しなやかな強さは、これから先の今後の人生において大きな財産となるでしょう。この強さを自信に変え、これからも成長し続けてください。

卒業生のみなさん、周りの人々が支えてくれたからこそ、ここまで来られたことを忘れないでください。どんな時もみなさんを支えてくれた家族や友達、先生、笑顔で毎日学校に送り出してくださった家族、そして支えてくれたすべての人々への感謝の気持ちを常に持ち、自分を大切に、そして他の人々を思いやり、心豊かな人生を歩んでください。この小泉小学校の卒業生であることに、誇りを持ち、これからも、あなたらしさをたいせつに頑張っていくてください。

さて、在校生のみなさん、今日で6年生のみなさんとお別れです。本当にお世話になりましたね。今日、ここでみなさんが小泉小学校を引き継ぎました。6年生の6名のみなさんをお手本にがんばっていきましょうね。

そして、最後になりましたが、保護者の皆様、本日のお子様のご卒業心よりお喜びのことと存じます。この6年間、様々なことが思い出されると思います。成長された姿を見て感慨もひとしおのことと存じます。4月からは、中学生。これまで以上に心配したり心悩ませたりすることもあるかもしれません。

「思春期」という人生において最も多感な時期、子どもから大人への移行期で、心身共に大きな変化が起こります。どうぞ、子どもたちと一緒に思春期を乗り越え、よき理解者として見守り、勇気づけ、導いてあげてくださるようお願い申し上げます。今日まで、本校へのご理解とご協力、ご厚情に深く感謝いたします。

舟橋先生はじめ、ここにいるすべての人たちは、これからもみなさんの応援団です。あなたたちの幸せを心から祈っています。小泉小学校で培った力を胸に晴れやかに中学校に進んでいってください。中学生でしかできないことがたくさんあります。その時その時を一生懸命にがんばるあなたでいてください。みなさんが夢に向かって、元気にはばたいていくことを期待します。



文責 校長 左雨 貴子

～一人一人に卒業証書を授与しました～



「夢」「希望」「自分らしさを大切に」